

喉摘後の音声回復・シャント発声法

20%

食道発声の成功率です。食道発声はゲップの要領で、空気を飲み込み、それを音に変える方法です。長期間、発声訓練を行った結果、社会復帰できる程度に上達する方もいらっしゃいますが、その数は20%よりさらに少なくなります。

90%

シャント発声の成功率です。シャント発声法とは、新しい空気の通り道を作る方法です。特別の訓練をしなくても、70~80%の方々は、普通の会話を楽しめるようになります。

95%

オランダ等ヨーロッパで、シャント発声を行っている喉摘者の比率です。発声ができるようになった後、退院するのがふつうです。シャント発声を続けるうちに食道発声が自然に上達し、シャント発声をやめる方もあります。



17語

シャント発声で無理なく発声できる語数です。喉摘前と同じくらい、一息で、長く話ができるので、より自然な会話ができます。食道発声では、数語ずつ区切って発声しなければなりません。

10分間

シャント発声を行うため、ヴォイスプロテーゼを留置する手術に要する時間です。医療施設によっては、外来で行われる、比較的負担が少ない手術です。

10mm

永久気管孔と皮膚との境目から10mm前後下に小さな孔を食道側に開け、ヴォイスプロテーゼを挿入します。発声時には、気管孔を塞いで話をします。

3ヶ月

ヴォイスプロテーゼの**交換が必要となる平均期間**です。ヴォイスプロテーゼの中心から水が漏れるようになると、交換が必要となります。食生活、体質などで異なり、短い方では、2週間、長い方では8カ月くらいで交換されています。

3分間

ヴォイスプロテーゼ**交換処置に要する時間**です。特に痛みもない処置であるため、麻酔も行わず、外来で、医師がきわめて短時間で交換します。

2万円

ヴォイスプロテーゼを留置し、シャント発声を行うために要する一カ月の平均的費用です。ヴォイスプロテーゼの交換頻度、健康保険の自己負担割合により、異なります。

時代はシャント発声へ

声が出ない、声質に満足できない、すぐに話をしたいという理由で、食道発声からシャント発声に切り替える方が急速に増えています。寄せられた感想の一部をご紹介します。



喉摘をする前から、毎月一度はゴルフを楽しんできたが、プロヴォックスに出会う前は、食道発声の上級を卒業した私でも外では十分な意思疎通が行えず、不本意ながら電気喉頭に頼っていました。しかし、神経の集中を要するゴルフでは機械的な音声は迷惑行為になると思い、グリーンではキャディーさんにどうしてもラインを尋ねることができなかった。プロヴォックスを留置してからは、気兼ねなく話ができるので、以前同様にゴルフを楽しめるようになった。(Tさん、東京)

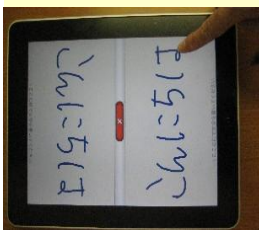


喉摘者の集まりに出かける時、お台場の駅を利用している。しかし、駅は無人改札で、インターフォンを介して連絡する仕組みになっているため、障害者割引の切符を購入したい意思をどうしても伝えることができなかった。プロヴォックスを挿入してからは、インターフォン越しに購入依頼ができるようになり、普通に通じる会話ができていることがわかり嬉しくなった。(Yさん、東京)

食道発声の教室に通っていたころ、努力、も機嫌が悪く、また怒りっぽく、笑顔を見声が出るようになってからは、笑顔が増え、



努力でいくら頑張っても声が出せず、家庭ではいつせることが全くなかった。シャント発声を始めて、家庭も明るくなった。(Nさん、東京)



平成5年に食道がんで手術を受け、喉摘も行つて以来、話したいために、食道発声、電気喉頭を試しましたがうまくゆかず、死ぬまで話すことができないとあきらめ10年以上も筆談で生活してきました。しかし、プロヴォックスを知り、早速留置手術を受け、発声し、話ができるようになった今は、その喜びを噛みしめています。(Gさん、東京)



食道発声に取り組んでいたときは無論、電気喉頭で会話がスムーズに行えるようになったときでも、社員を叱責する際に、怒鳴ることができず、もどかしく、その内にこもる感情のやり場に困ることが多かった。プロヴォックスを着けてからは、抑揚をつけて表現ができるだけでなく、怒声をあげることもできるので、仕事にメリハリが出て、これが誠に楽しい。(Kさん、鳥取)



喉摘後は、鼻汁が出ても鼻をかむことができず、また、うがいをすることもできなかった。シャント発声を行うようになってからは、気管孔を押さえ、いずれもできるようになったので、些細なことであるかもしれないが、私にとっては本当に有難い。(Sさん、東京都)

悠声会 (ゆうせいかい)

シャント発声を行っている喉摘者の集まりです。シャント発声ではほとんどの方が話せるようになるので、悠声会では特に発声訓練は行っていません。お互いに困っていることを相談したり、地方自治体の助成につき情報交換を行ったりする集まりです。また、発声のコツがつかめない方には、言語聴覚士の先生が一对一で、発声の具合を確認し、アドバイスをすることがあります。インターネットで、「悠声会」で検索すると、ホームページで活動内容がご覧になれます。